

令和3年12月20日

会員各位

(公社)宮城県トラック協会  
会長 庄子 清一  
(会長印省略)

## 大型車の車輪脱落事故防止対策の徹底について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の事業活動各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、11月より「車輪脱落事故防止強化運動」を展開しており、会員事業者の皆さまにおかれましては、お取り組みいただいているところです。

しかしながら、今年度において、自家用大型車の1件を含む6件の宮城県内車籍の大型自動車の車輪脱落事故が発生しております。

車輪の脱落事故は、事故の発生傾向や原因等は一定程度明確になっており、日常点検やタイヤ交換後の点検並びに増し締めの実施を確実に行うことにより、多くの事故は未然に防げるものであります。

昨年度はこの12月に最も多く発生しており、これから年末に向けて更にお忙しくなっていくことと存じますが、いま一度、点検・整備の徹底をお願い申し上げます。

なお、別添にて当該事故における傾向と対策をお知らせしますので、ご参考のうえ、お取り組みいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

《送付資料》

1. 別 添 東北地域における車輪脱落事故の傾向と対策

以上

## 東北地域における車輪脱落事故の傾向と対策

### 《発生傾向》

- ◆脱落箇所は全て左後輪（令和２年度）
- ◆タイヤ交換作業後１ヶ月以内に多発
- ◆冬季（１１月～２月）に多発 １２月に最も多く発生している
- ◆車齢６～９年の車両で多発

### 《対 策》

- ◆日常点検の確実な実施
- ◆５０～１００km走行後に規定トルクでの増し締めの実施
- ◆ネジ部、ハブ面の錆・汚れ等の清掃作業を確実に実施
- ◆劣化・摩耗が進んだホイール・ボルト及びホイール・ナット等は早  
めに交換
  - ※錆や汚れを落とし、ネジ部にエンジンオイル等を薄く塗布して、ナットを手  
で回した時、スムーズに回転しない場合は、ネジ部に異常があります。
- ◆ホイールナットのマーカの装着や、マジック等でのマーキング  
による緩みの確認